

11月8日は いい歯の日



ご当地よ坊さん(鹿児島県版)

子どもの口から むし歯を無くしましょう!

鹿児島県の1歳6カ月の子どもの100人中4.1人にむし歯があり、全国ワースト3位(全国平均2.7本)です。3歳児では100人中32.2人と全国36位(全国平均24.6人)の状況です。子どもの口からむし歯を無くすためには、1歳までの赤ちゃんにお菓子や甘い飲み物を与えないことが大切です。

口腔保健センターでの 障害者歯科診療

鹿児島県歯科医師会立口腔保健センター(鹿児島市)は障害者歯科診療(ならびに休日急患診療)を専門とする診療所です。障害の種類や程度を考慮し、行動変容法、笑気吸入鎮静法さらには静脈内鎮静法を用いながら良質で安全な歯科医療を提供することを心がけています。どうぞお気軽に下記にご相談ください。
TEL 099(223)0378

無くなって、初めてわかる歯は命

明日、11月8日は「いい歯の日」です。歯とお口の健康について考える良い機会にしていだければと思います。

歯とお口の健康は、生きがいや生活の質に直結しています。おいしく食事をするための「かむ機能」、意思を言葉で伝えるための「発音機能」と深く関わっているからです。歯を失うとこれらの機能は大きく低下します。

歯を失う原因のほとんどは、むし歯と歯周病です。むし歯と歯周病は全身の健康とも深く関わっており、決して放置してはいけません。いずれも生活習慣の改善と定期的な健康管理で予防できますし、もし罹患(りかん)しても早期に治療を開始すれば大事に至りません。

鹿児島県歯科医師会は、これからもあなたの歯とお口の健康をサポートいたします。

鹿児島県歯科医師会会長

森原 久樹



歯科医療は「生きる力を支える生活の医療」です。

日本歯科医師会 <http://www.jda.or.jp/>

鹿児島県歯科医師会 <http://www.8020kda.jp/>